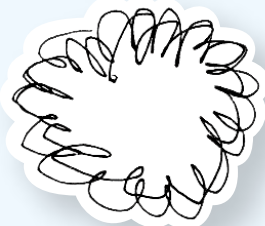


せきじゅうじて、
なんだろう？

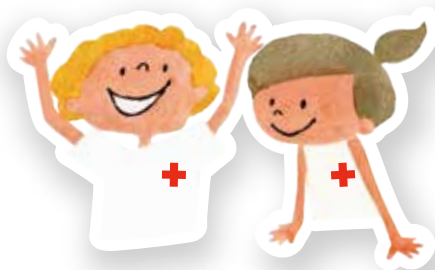


せきじゅうじ

赤十字のマーク

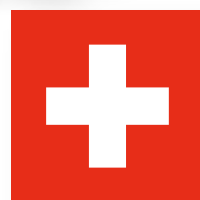


みんなの むね についている マークを 知っていますか？
これは、^{せきじゅうじ}赤十字のマークです。



せきじゅうじ

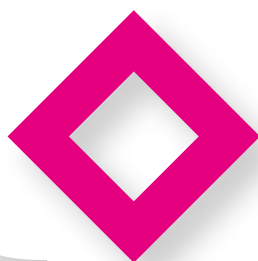
赤十字をつくったアンリー・デュナンが
生まれた「スイス」のこっきの ^{いろ}色を
はんたいにして つくられました。



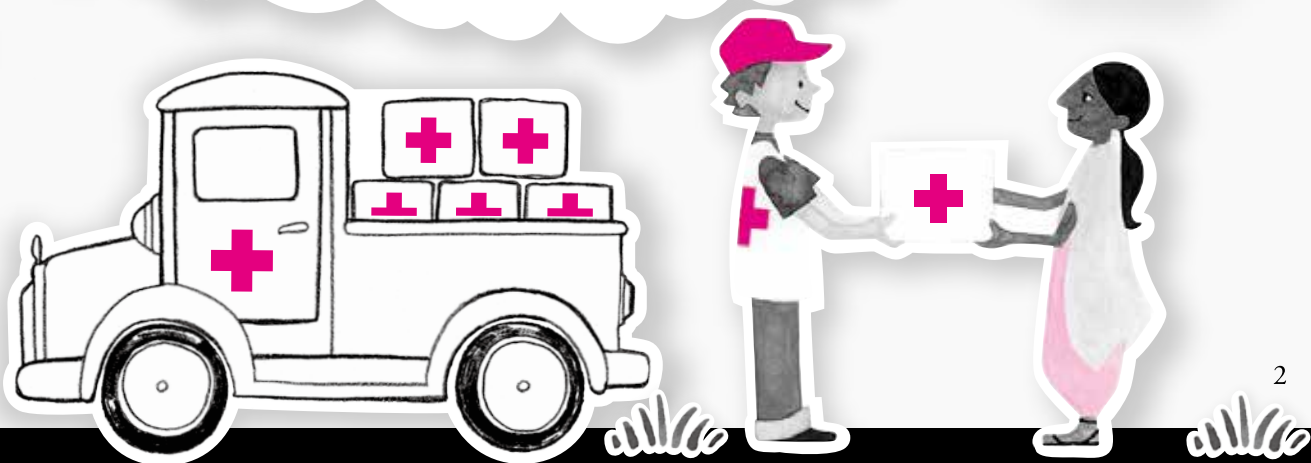
しかし、せかいには、いろいろなりゆうで、このマークを
つかえない ^{くに}国もあります。そこで「^{せきしんげつ}赤新月マーク」が
つくられ、「^{せきじゅうじ}赤十字マーク」と同じものとして
つかわれるようになりました。



さらに、2005^{ねん}年には「レッドクリсталマーク」も
赤十字^{せき じゅう じ}のマークにくわわりました。



赤十字^{せき じゅう じ}のマークは、いのちをまもるための、大切な^{たい せつ}マークです。
せかいじゅうで、くるしんでいる人^{ひと}や、その人^{ひと}たちを
たすける人^{ひと}を、まもるために つかわれています。
そのため、このマークがついている びょういん^{ひと}や 人^{ひと}には、
せんそうちゅうでも ぜったいにこうげきしては
いけないことになっています。
このことは、「ジュネーブじょうやく」という、
せかいの やくそくで きめられています。



せきじゅうじ ちち 赤十字の父 アンリー・デュナン

いま やく190^{ねん}年まえ スイスのジュネーブという^{まち}町に、
デュナンという男の子が生まれました。

デュナンは とてもやさしい子でおさないときから
びょうきの^{ひと}人を^{げんき}元気づけたり まずしい^{ひと}人の
お^て手つだいをしたりしました。

大人になった デュナンが
しごとで イタリアのソルフェリーノ
という^{まち}町を ^{とお}通りかかったとき、
そこには ^{にん}せんそう^てで ^あきずついた たくさんの ^{にん}けが人が
手^て当てもされずにくるしんで いました。



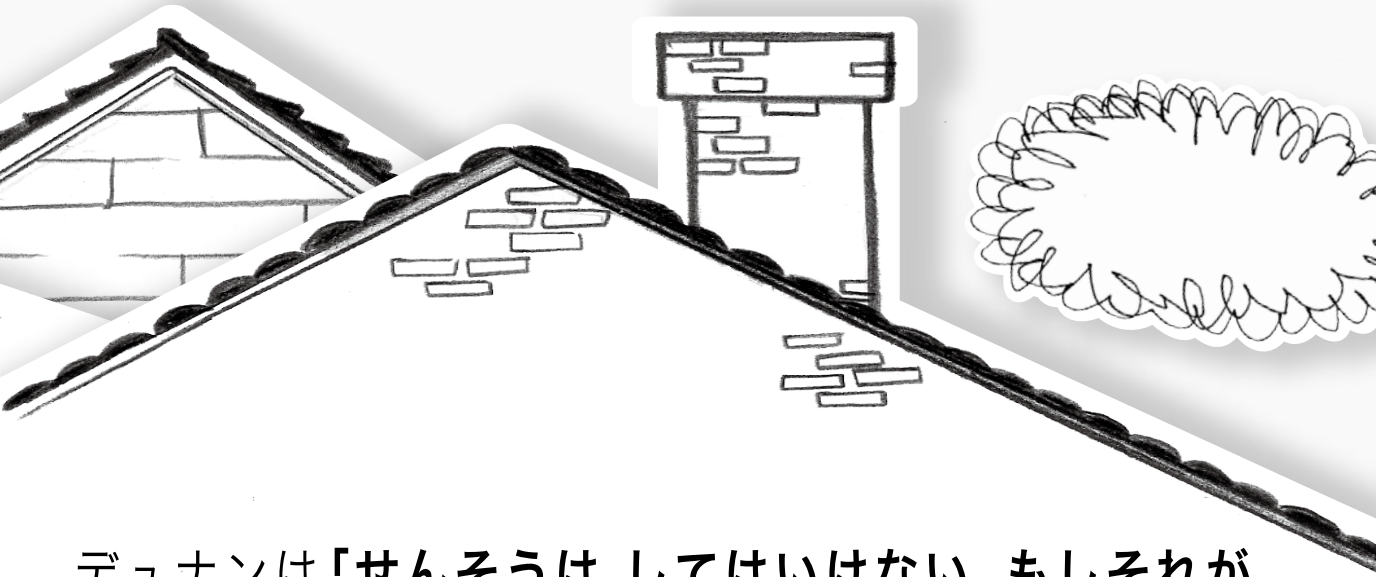
デュナンは かなしくて むねが はりさけそうになりました。
すぐに ^{まち}町の人^{ひと}に よびかけて ^て手^あ当てもをはじめました。

**「きずついた^{ひと}人は てきもみかたも ありません。
人間は ^{にん}みんな ^{げん}きょう^だい^いです。」**

デュナンは そういって ^て手^あ当てもをしました。



ふるさとに ^{かえ}帰った デュナンは なやみました。
デュナンの ^{あたま}頭^{ひと}から くるしみながら しんでいった、
たくさんの^{ひと}人たちの ^{ひと}すがたが はなれなかったからです。



デュナンは「せんそうは してはいけない。もしそれが
できないのなら けがをした人^{ひと}は みんなたすけましょう。」
と、よびかけました。

デュナンの よびかけに たくさんの人^{ひと}たちが
さんせいしました。そして16の国^{くに}のだいひょうの
人^{ひと}たちが はなしあって赤十字^{せきじゅうじ}をつくりました。
デュナンはこのかいぎを しずかに
見^みまもっていましたが かいぎが
おわったとき デュナンの目^めには
なみだが あふれて いました。



その^{あと}後^ごも デュナンは
赤十字^{せきじゅうじ}のためにいっしょうけんめい
はたらいて79さいのときに
ノーベルへいわしょうをもらいました。
デュナンはなくなるまで ひとびとの
しあわせを ^{かんが}考え
しずかに しょうがいをとじました。



にっ ぽん せき じゅう じ しや

日本赤十字社のおこりとかつどう

アンリー・デュナンがつくった赤十字は、
げんざい192の国ぐにで
かつどう しています。

に ぽん せき じゅう じ ねん
日本の赤十字は1877年に

さ の つね たみ
佐野常民によってつくられました。

おお
大きなたたかいが に ぽん
日本であったとき、



そのたたかいで けがをした人を、
てきでも みかたでも くべつなくたすけた 人によって、
に ぽん せき じゅう じ う
日本の赤十字は生まれたのです。



ねん い じょう
140年以上たった げんざいでも、にっ ぽん せき じゅう じ しや
日本かくちで いのちをまもる かつどうを しています。

せき じゅう じ 赤十字は

- ・ せんそうや ふんそうで けがをした人^{ひと}を たすけます
- ・ さいがいの ひがい^{ひと}にあった人^{ひと}を たすけます
- ・ びょうきで くるしんでいる人^{ひと}を たすけます
- ・ お年^{とし}よりや しょうがい^{ひと}のある人^{ひと}を たすけます

これらのかつどうは、^{くに}国や せいべつ、
しゅうきょうなどによって さべつすることなく
おこなわれています。これらは ボランティアの
きょうりよくで おこなわれています。みなさんのような
^{せい しょう ねん}青少年も、^{せき じゅう じ}赤十字の^{たい せつ}大切な なかまです。



みなさんが、いのちと ^{とも}けんこうを大切にし、
お友だちと なかよくするかつどうを、
^{せい しょう ねん せき じゅう じ}「青少年赤十字」といいます。



せいしょうねん せきじゅうじ 青少年赤十字



○たんじょう

いま 今から100年ねんくらいまえ前に ヨーロッパで
おお大きなせんそうがあり、

たくさんの子どもたちが いえやかぞくを うしないました。

そんなとき、アメリカや
オーストラリアの子どもたちが
ヨーロッパの子どもたちをなぐさめ
はげまそうと、
がっこう 学校の先生とそうだんして



さくぶん 作文や絵、え がくようひんや
かね お金をあつめ、赤十字社せきじゅうじに もっていきました。



そしてそれらが 赤十字社から
ヨーロッパの子どもたちにおくられました。
子どもたちは、とてもゆうきづけられました。



このことが きっかけとなり 自分から すすんでお友だちや
そのほかの人のために よいおこないができるようにと、
せいしょうねん せきじゅうじ 青少年赤十字が 生まれたのです。



○かつどう

だれもがもっているやさしい^き気持ちを^{とも}お友だちやほかの人たちにあげることです。やさしい^き気持ちを^{ひと}こうどうにうつすことが^{たい せつ}大切です。
自分で^{じ ぶん}気がついたことやよいと^{おも}思ったことは^{おも}どんどん
してみましょう。先生^{せん せい}や^{ひと}おうちの人に^い言われたから
するのではなく、自分で^{じ ぶん}考^{かんが}えて^{たい せつ}するのが大切なことです。
たとえば、こんなこと

がっ こう 学校で

^き気づき ^{こう}校^{てい}に ボールが おちている。

^{かんがえ} どうして つかい^{ぱなし}に するんだろう。
ボールが かわい^{そう}だな。
なくな^{って} しまうかもしれない。

^{じっ こう}実行する もとのところにもどしておく。



がっ こう 学校のそとで

^き気づき おうだん^{ほうどう}を わたれないで こまっている
おじいちゃんが^いました。
あっ、こまっている^{ひと}人が いる。

^{かんがえ} どうしたら むこうがわに
わたれるかな。

^{じっ こう}実行する ボタンを おしてあげる。
いっしょに わた^{って}あげる。



○もくひょう

青少年赤十字せいしょうねんせきじゅうじの なかまは、わたしたちだけではなく、ほかの小学校や
中学校、高校などに たくさんいます。わたしたちは、いつも元気で
学校のお友だちと なかよくするだけでなく、
せかい中のお友だちとも なかよくし 毎日、楽しい 生活が
できるよう よいおこないを していきましょう。

青少年赤十字では、わたしたちが 赤十字のことを よく知って、
みぢかなところから たすけあいや 思いやりの 心をひろげ、
人のためと自分のためにどりよくできるよう じっせんもくひょうと
いうものをきめています。

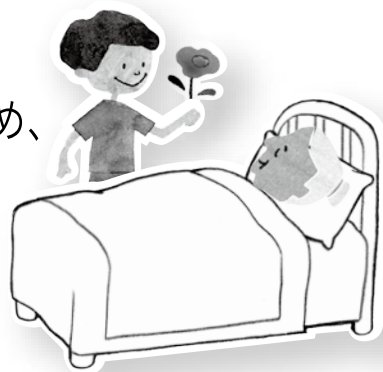
1 けんこう・あんぜん

自分や ほかの人のいのちと けんこうを大切にし
あんぜんな生活を こころがけます。
学校では、しゅうだん登下校、手あらいやうがい・
きゅうしょくのあとのみがきなどをすすめます。
きゅうしょくや 朝ごはん・夕ごはんを
すききらいなく なんでも食べましょう。



2 ほうし

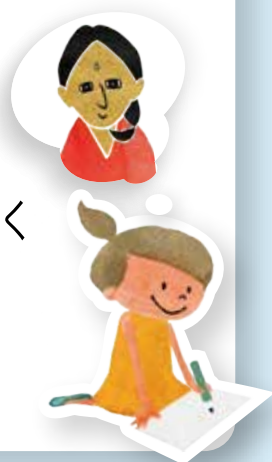
かていで、学校で、町の中で たすけあいを
すすめます。ぼきん、しょうずみ切手あつめ、
しせつほうもんなどを おこないます。
こまっている人を見たら いつでも
親切にし、たすけてあげましょう。



3 こくさいりかい・しんぜん

せかいのお友だちとなかよくします。
こうりゅうしゅうかいへのさんか、しんぜんアルバムづくり
などをおこないます。このようなことに 気をつけて
毎日をおくっていると、たくさん友だちができ、
おうちや学校、町の中が とても明るくなり、
自分だけでなく ほかのお友だちも みんな毎日たのしく
よい気もちで すごすことが できるようになります。

さあ、まず自分からやってみましょう。



もっと知りたいみなさんのために

赤十字や 青少年赤十字について、もっと くわしく知りたいみなさんは、
つぎのしりょうを先生といっしょによんでみましょう。

赤十字のマークについて

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：31 ページ

ジュネーブじょうやくと赤十字のきまりについて

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：32～34 ページ

アンリー・デュナンについて

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：26～30 ページ

・ 赤十字の父 アンリー・デュナン

日本の赤十字について

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：37～41 ページ

せかいの赤十字について

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：35～36 ページ

青少年赤十字について

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：4～11 ページ、18～25 ページ

ボランティアについて

・ 青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：12～17 ページ

せきじゅうじって、なんだろう？

平成 20 年 12 月 初版発行
平成 27 年 6 月 第 2 版 2 刷発行
令和 3 年 8 月 第 3 版 3 刷発行

編集者 日本赤十字社 事業局 パートナースHIP推進部
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課
〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 電話 03-3438-1311(代表)
ホームページ：<https://www.jrc.or.jp/>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

